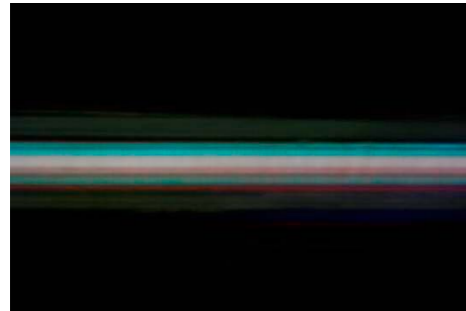


「Express」

写真学科 田中 仁 Jin Tanaka



2008年から制作している作品です。

写真は現実を圧縮しているものと考えています。

高速で移動している中での撮影は距離も圧縮して取り込んでいます。

1964年（昭和39年）東京オリンピックにあわせて開業した東海道新幹線は、当時世界最速を誇っていました。現在も時速約300kmで移動します。

車内からの撮影では、数センチのイメージセンサー（CMOS）に、時に数十キロの距離が撮影／圧縮されます。そこに現れる画像は光と色の固まりであり、同時に沿線風景の総体です。記録データ化された画像はプリントされることで拡大されます。写真は常に圧縮と拡大の繰り返しであり、そこに本質的なものを感じさせます。



1979年に大学を卒業後、関西を中心に制作と写真教員、カメラマンとして活動。国内、N.Y.でさらに写真を学んだ後、1998年大学院でメディア・アート専攻を修了。現在は写真教員、研究者として写真領域で多岐に活動している。

主な個展「桂三枝」「Water」「Weather」

論文／研究報告「写真教育について」「アンリ・カルチェ・ブレッソン研究」「植田正治のネガ保存」

著書「現代写真のリアリティ」（共著）「写真：技法と表現」（責任編集／共著）

